



# 自衛隊栃木地方協力本部

## 防大1年生、初めての夏季休暇と地本来訪



地本訪問 右から 大豆生田学生士、松原学生、大貫学生、募集課長



本部長と和やかに話す学生達



本部長に防大での様子を報告

8月1日(火)、自衛隊栃木地方協力本部(本部長 加藤 浩一陸佐)に、防衛大学校へ令和5年3月に入校した大貫那緒学生、松原 かつは おおまめうだりようが 和葉学生及び大豆生田凌我 学生が訪れた。3人は現在、防衛大学校の第71期生として入校中であるが、初めての夏季休暇を利用し栃木地本(宇都宮合同庁舎)を訪れ、地本部長、募集課長(久保田2空佐)にお世話になったお礼と防衛大学校での様子について報告してくれた。

3人は防大での訓練や同期との宮内生活、校友会での出来事、将来になりたい職種などの話を嬉しそうに話してくれた。また、初めての夏季休暇を楽しんでいることや毎日の生活がとても楽しく充実していると話していた。

栃木地本は「今後も入隊・入校後の隊員と連携を密にし、隊員、学校との信頼関係及び協力関係を強化し、募集基盤の拡充に邁進していく」としている。



栃木地本キャラクターと一緒に記念撮影

## 防医大説明会を開催

### ～未来の医官・看護官を夢見て～

自衛隊栃木地方協力本部(本部長 加藤浩一陸佐)は、8月5日(土)、宇都宮地方合同庁舎(宇都宮市)において防衛医科大学校(所沢市)現役学生の支援を受け防衛医科大学校説明会を実施した。

当日は、午前中に栃木県出身の防医大2年生である佐宗杏樹学生を招いて看護学科の説明会を行い、午後には群馬県出身の同じく防医大2年生である平野遼学生を招き医学科の説明会を実施した。

各学科の概要説明の後、説明会参加者と支援学生による質疑応答を行うと参加者側から多種多様な質問があり、純白の制服姿の現役学生から防医大入試突破の秘訣や学生生活の実情等が披露されるなど、大いに盛り上がりを見せた。

入試突破の秘訣については、『防医大の入試問題にはクセがあるため、過去問をひたすら解くことが重要』であることや、学生生活の質疑の中では、防医大生生の『恋愛事情』が語られるなど、参加者にとっては極めて貴重な情報を得られる機会となり、防衛医科大学校入学への意欲を向上させるものとなった。

栃木地本は「今後も、自衛隊に関心を持つ募集対象者等が自衛隊の各種目に関する理解を深め、志願意欲を向上できるように説明会やイベントを積極的に開催していく」としている。



佐宗学生(右)と入校時の担当広報官



説明会(質疑応答)の様子



質疑応答に臨む佐宗学生



質疑応答に臨む平野学生